

令和4年1月19日

課名 総務局 研究開発課

担当者 総括官(研究開発)(兼)研究開発課長 今井

内線 2404

課名 農林水産局 農業技術課

担当者 課長 出原

内線 3556

令和3年度 県立総合技術研究所 農業技術センター 研究成果発表会の開催について

1 要旨・目的

県立総合技術研究所 農業技術センターにおいて、研究成果を生産者や関係事業者等に広く紹介し、センターと開発技術の利活用の促進を図る。

2 現状・背景

環境制御システムに関する技術開発が進み、生産者等への移転段階にある研究成果も蓄積されていることから、効果的な移転活動を進める必要がある。

3 概要

(1) 実施主体

県立総合技術研究所 農業技術センター（東広島市八本松町原 6869）

(2) 実施期間（日時）

令和4年3月10日（木） 13:00～15:30

(3) 場所

県立総合技術研究所 農業技術センター 講堂

※ Zoom によるオンラインでも同時開催し、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンラインのみでの開催とする。

(4) 実施内容

テーマ：「環境制御システム活用による施設園芸品目の生産性向上を目指して」

内 容：

ア 広島県が目指す農業 ～「儲かる農業」を実現する環境制御技術の開発～

イ 農業技術センターにおける環境制御技術の開発

ウ 環境制御技術の各品目（ハウスアスパラガス、夏秋トマト、夏季ホウレンソウ）への展開

エ 環境制御技術の今後の取組

オ 圃場見学（希望者のみ実施し、オンラインのみでの開催となった場合は中止）

4 その他

成果発表会に関する情報は、農業技術センターのホームページに掲載し、併せて他の研究成果も紹介する予定。



令和3年度 県立総合技術研究所

農業技術センター 研究成果発表会

参加費 無料

要事前申込

どなたでも参加可

- 日時 令和4年3月10日(木) 13:00~15:30
- 場所 県立総合技術研究所 農業技術センター 講堂 (東広島市八本松町原 6869)
※ 会場定員 80 名。Zoom によるオンラインでも同時開催し、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンラインのみでの開催とする
- テーマ 「環境制御システム活用による施設園芸品目の生産性向上を目指して」
- 内容

- 広島県が目指す農業～「儲かる農業」を実現する環境制御技術の開発～ (13:00~13:15)
農業技術センター長 栗久 宏昭
- 研究の取組紹介と成果の発表 (13:15~15:30 質疑応答含む)

演題	要旨	発表者	時間
1. 農業技術センターにおける環境制御技術の開発	熟練者の経験と勘をデジタル技術により見える化し、これに基づき適正な環境条件に自動制御(分かる・動かす化)する技術開発の概要と進捗状況を紹介します。	栽培技術研究部 担当部長 川口 岳芳	13:15 ～ 14:05
2. 環境制御技術の各品目への展開			
1) ハウスアスパラガス	高軒足場管ハウス(※1)での枠板式高畝栽培(※2)および開発中の地下部の環境制御技術の概要を紹介します。	栽培技術研究部 主任研究員 坂本 隆行	14:05 ～ 14:30
2) 夏秋トマト	高温期の収量向上を目指して開発中の「生体情報に基づいた昇温抑制技術」の概要と増収効果を紹介します。	栽培技術研究部 副部長 上藤 満宏	14:30 ～ 14:55
3) 夏季ホウレンソウ	高温に非常に弱いホウレンソウを夏季にも安定生産することを目指し、昇温抑制や自動灌水などの環境制御による増収効果を紹介します。	栽培技術研究部 研究員 中嶋 悠太	14:55 ～ 15:10
3. 環境制御技術の今後の取組	農業技術センターの今後の取組と目指す姿を紹介します。	栽培技術研究部 部長 伊藤 栄治	15:10 ～ 15:20

※1 高軒足場管ハウス…工事現場の足場を組む際に用いられるパイプを使用した高軒の低コストハウス。高温を回避できる。
※2 枠板式高畝栽培…畔波板で枠を作りその中に土を入れて畝を高くした栽培方法。収量増加や収穫作業の姿勢改善ができる。

- 圃場見学 (15:30～)
発表会終了後、希望者を対象に実施(オンラインのみでの開催となった場合は中止)

成果発表会の詳細、申込方法等は、農業技術センターのホームページで公開予定です。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/>

問い合わせ先 082-429-0522

広島県 農業技術センター

検索